

熊野修験春峰、行仙宿へ事前荷揚げとモノレール傍の倒木処理

◇実施日… 2021年5月19日(水)

雨

◇参加者… 沖崎吉信、梶野照雄、山川治雄、小山益生(熊野修験)

4名

梶野君は、先日(5月15、16日)行われた「Etoトレイルラ
ン大峯奥駈」のサポートに一泊で行仙宿へ行った。

その際、モノレールの傍に6年ほど前に折れて横たわっている直径
50cm位の倒木がモノレールに接触しそうになっているのを見つ
け、部分的に切除しようだ。



登山口をスタート



モノレール傍の倒木処理



この倒木は2年前にもモノレールに接触したので接触していた部
分を切除したのだが、再び移動しており、大幅に切り落として、多
少移動してもモノレールに影響が無いように、と思ったようで、山
川さんと二人で出向き処理すると連絡があった。

大型連休後に熊野修験、高木亮英師から電話があつて、5月29
日(土)春峰(玉置山↓前鬼)で行仙宿に宿泊するが、車の回送や
荷揚げなどのサポートを頼むとのことであつた。

従来は山上さんが取り仕切っていたが、お亡くなりになって沖崎
の方に連絡があつたようだ。梶野、山川の2名が出向くのに便乗し、
この日を事前荷揚げの日とした。



荷揚げ開始

行仙宿に到着

不用品を持ち降ろす

前日に米5kg、サトウのごはん、カセットガスと器具、その他諸々
が届けられ、ガソリン5リッター缶2個も加えて当日行仙宿へ。
荷揚げ協力と発電機熟练操作のため熊野修験接待組の小山益生
氏が同行され4名となった。

当初の天気予報は曇りだったので、なんとか降られずに済むか、と思っていたが、今年は3週間早く梅雨入りしたためか、やはり朝から雨であった。久しぶりで雨具に身を包み、梶野、山川の2名はモノレールで上へ。沖崎、小山の二人は歩いて終点へ。終点に着く前にチェンソーの音が聞こえてきた。早速処理にかかったようだ。20分ほどで終点に到着、荷物を持って先行するか、二人の作業終了まで待つかと考えていたが、何のことは無い、大きいとはいえ倒木一本の処理は手慣れたもので、終点に到着とほぼ同時に合流した。荷物を分担して行仙宿に向かう。荷揚げした品物はそれぞれ所定の位置に収納、梶野君は小山さんに発電機の取扱などを教える。小屋、お堂内外の点検や整理も行った。

小山さんは7リッターのポリタンク4個を持ち降ろし、29日に水道水を入れて荷揚げすることのこと。

不要の空ペットボトルやカセットガスも多数有って、処分のため持ち降ろした。

雨が止む気配はなく、昼食も取らずに下山した。

(記：沖崎)

行動タイム

登山口 09：20→10：25 行仙宿 11：30→12：00 登山口